

Thermally Activated Delayed Fluorescence Based on Heptazine Derivatives and Its Application to Organic Light-Emitting Diodes

李, 杰

<https://doi.org/10.15017/1470578>

出版情報：九州大学, 2014, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名	李 杰					
論 文 名	Thermally Activated Delayed Fluorescence Based on Heptazine Derivatives and Its Application to Organic Light-Emitting Diodes (ヘプタジン誘導体に基づく熱活性化遅延蛍光と有機発光ダイオードへの応用)					
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	安達	千波矢	
	副 査	九州大学	教授	久枝	良雄	
	副 査	九州大学	教授	今任	稔彦	

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究では、分子骨格に電子供与性と電子受容性置換基を含有する新規 Heptazine 誘導体を用いた TADF 材料の開発に取り組み、その TADF 発光特性及び電子物性の両面から検討を行い、高効率赤色 TADF 発光の実現と新規な $n-\pi^*$ 遷移に基づく発光機構を見出している。これらの研究成果は、今後の有機デバイス科学に関する研究に関して極めて重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。